

1/28五.五

吉田文雄首相の施政方針演説に対する各党の代表質問が衆参両院の本会議で行われました。日本共産党は衆院で志位和夫幹事長が、参院で小池晃書記局長が首相の姿勢をたしかめました。

代表質問 首相答弁

主張

で43兆円とのある大軍拡は昨年
末、開議決定された安保3文書に
盛り込まれました。志位氏は、「昨年
の参院選などで内閣を国連と一切
示さず、米政権に報告し既成事実
化して決めるやり方は、民主主義
の無視だと厳しく批判しました。
敵基地攻撃能力保有は、憲法と

説明しない暴走政治許されぬ

で43兆円にある大軍拡は昨年未、国議決定された安保3文書と盛り込まれました。志位氏は、昨年の参院選などで内閣を国民に示さず、米政権に報告し既成事実化して決めるやう方は「民主主義の無視だと厳しく批判しました。敵基地攻撃能力保有は、憲法と

説明しない暴走政治許されぬ

の関係で説明がつきました。政府は、平時から他国を攻撃するような兵器を使つたときは「憲法の趣旨」とか、「目的ではない」と園田で答弁しています。志位氏は米軍を擁護しましたが、首相が「憲法解釈は変えてないと書い張りまし

た。「専守防衛」との関係はどう

のか。志位氏の理解は正しから御えず、「専守防衛を堅持する」と繰り返しました。

「自分の國を自分で守る」とこ

う首相の主張も成り立ちません。集団的自衛権の行使が可能になり下で参戦しない」と述べました。が、国連憲章違反の先制攻撃に面してしまいます。首相は「米軍の撫撲ステムに国際法が

か。国内総生産(GDP)比23%始めるだら、自衛隊は米軍と一緒に敵基地攻撃能力を使って相手国の領土に攻撃を加えることになります。それが「専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるもうな軍事大国とはならぬ」(安保3文書)として、地政権能力の柱に「統合防空ミサイル防衛」能力の強化をえた危険性を強調しました。米国が地域的観

た。米軍は何よりも自衛隊が

切実な要求に背向けるな
い。必要なことは戦争準備でなく平和の維持です。志位氏は東アジアに平和をつくる外交戦略への転換を求めましたが、首相は口米黒事回に固執する立場を変えません。
志位氏はコロナ对策、物価高騰から導いたを守り経済を立て直す具体策、子育て支援、原発ゼロ・脱炭素への切り替えなど重要な課題で対案を示し実現を図りました。小池都記念講演は、路線危機の打開やジョンスター丹羽社長が急務だと提起しました。しかし、蓮田首相には国民の切実な願いを受け止める姿勢がありません。政治の大本からの転換が必要です。